

『市民の意見を聴く会』実施報告書

開催日時	令和6年1月13日(土) 1部:午後2時 ~ 午後3時30分 2部:午後6時 ~ 中止
開催場所	安曇野市役所 4階大会議室
出席議員	出席議員: 1部19人(うちオンライン1人) ※2部は中止 議長: 松枝 功 副議長: 小林純子 司会進行: 小林純子(副議長) 記録: 林 孝彦、大竹啓正 写真: 矢澤毅彦
参加市民数	1部: 15人(うちオンライン5人) ※2部は中止
実施内容・意見等	<ol style="list-style-type: none">1 開会進行: 小林純子副議長2 あいさつ: 松枝 功議長3 安曇野市議会議員報酬等について ～安曇野市特別職報酬等審議会の答申を踏まえて～ <p>(副議長) 出席者に謝辞。注意事項の説明後、開会を宣言。議長に挨拶を求める。</p> <p>(議長) 会の考えを説明。本題は「安曇野市議会議員報酬等について～安曇野市特別職報酬等審議会の答申を踏まえて～」。</p> <p>(副議長) 配布資料の確認を行い、議長に資料の説明を要請。</p> <p>(議長) 資料をもとに審議会の答申内容の説明を行う。市議会議員の議員報酬の額、政務活動費の額、市長、副市長及び教育長の給料の額について。議員報酬や特別職の給料の額は、平成17年10月1日の安曇野市発足時に決定されたもので、これまで18年間一度も改定されていない。議員定数については、28人を25人とし、さらに22人として現在に至っている。定数を減らした中では、今まで3,500万円くらいの削減はしてきた。報酬等の額は、人口や議員定数、財政規模及び産業構造等が最も類似する飯田市、佐久市の状況等を改正に当たっての基本的な考え方としたという内容。政務活動費は、現行どおりに据え置くという答申。</p>

(副議長) 3分以内で皆様のご意見を。

(穂高 K 氏) 市議会の中でパワハラ、セクハラが今だに解決できない。条例ができない。ベテランの議員が、最初に起きた時に表に出すことはもみ消せと言った。小林陽子さんが職員に対して考えられないことをやった。県会議員に立候補したが、有権者で知っている方はほとんどいない。

(副議長) 事実確認ができていないことについての発言だ。

(穂高 K 氏) 全然解決できていない。市民に分かるようにやること。

(副議長) ハラスメントの条例をどう整理するかというような課題については、まだ進行中だ。

(穂高 K 氏) 進行中じゃない。最初に起きた時に二度とやらないようにやるのが本当の市民の代表だ。松枝議長は、議長になる前に同じ会派の議員にハラスメントを起こしておいて、やった時に素直に謝っていれば、相手方だって素直にお互い意気投合して前へ進んでいくのに、俺はやっていないような口っぷりだからおかしくなっちゃう。内川さんもたるんでいる。給料を値上げするなど、もってのほか。

(議長) ハラスメント条例ができないと、きちんと対応ができていない議会の報酬引き上げは承知できないという、これが原点と思う。事実確認ができていない事項をどういう形で事実確認をするか、これからの問題が一番大きい。1年近く規程づくりに動いているが、今だになかなか難しい。

(穂高 K 氏) 難しくないよ。

(議長) 本当にそうなんだ。会議が公開されているように、真摯に取り組んでいる。例規の作成に尽力していく。

(明科 S 氏) 先々週ぐらいから安曇野市に住み始めた。議員報酬の引き上げは賛成。議員報酬が大分長い間改定されていないというところも見た。人口を増やさないといけない。展望が見えるという中で、議員報酬の値上げがちゃんと納得できる形であれば、市民も納得いくと思う。

(議長) 議会の見える化とか、一般質問や議論を通じて、知恵とか技術とかを乗り越えて、逆に生産性を上げていく、経済、社会を向上させていく努力が必要だと思う。努力はさせていただくので、ご承知いただければと思う。

(穂高 Y 氏) 議会にも行政にも気がついたことを申し上げている。結果として動いていないと感じている。議員報酬について基本的に案

のとおりでよろしいと思う。議会の見える化については、市民の意識の問題。議員も議会活動の経費をしっかりと使って必要な情報は得ていただきたい。

(副議長) 市民と議会が遠いのではないかというお話もある。ネットでの傍聴も活用していただければと思う。

(三郷 K 氏) 時給 950 円のデイサービスセンターで働いている。もっと底辺の人たちの生活をちゃんと見ていただきたい。上げるのは今の時期ではない。

(議長) お話は承る。時期は、市民の理解がなされる時期という意見も議員の中にはある。指定管理制度の問題点になるのは出てくる。

(副議長) 議員の仕事は意外と理解されていない面は多々ある。

(明科 E 氏) 議会の傍聴をしている。丁寧な説明で、資料は内容的によく理解できる。合併以来ずっと据え置きは気の毒。きちんとやるべきことをやってほしい。議会改革をしてもらいたい。

(議長) みんなでこれからしっかり取り組む。

(副議長) 若い方が立候補していただけるような状況になってきた背景には、市議会であれば一定の報酬が期待できるというのは非常に大きいと思う。

(明科 E 氏) 若い人たちが活発に議会に取り組んでも、ちゃんと生活もできるし、頑張ってやれるんだという環境はぜひつくっていただきたい。

(三郷 K 氏) 普通の方に話を聞いてくれ。本当に今じゃないと思う。

(議長) 大変厳しいご意見だと思う。必要な経費、お金を受け取った上で、一生懸命議員の活動ができるような環境にしてほしいという希望はある。

(三郷 Y 氏) いい仕事をしてもらうには、ある程度お金を払っていないといけない。私は賛成。

(池田町 M 氏) 去年 4 月から初めて議員をさせていただいている。私はもっと上げてもいいんじゃないかと思う。本当に活動費がかかる。市議会がどんなことを本当にされているのか、もうちょっとよくご覧になってほしいなと思った。

(議長) しっかり仕事ができる報酬をいただく中でやっていきたい、という気持ちはしっかりある。

(穂高 I 氏) 最初は、議員の報酬を上げようという案が通りそうとか聞いて、何言っているのとか思ったが、18 年間上がっていないということに驚いた。報酬が上がった暁には、しっかりとお仕事をして

	<p>いただきたい。</p> <p>(議長) 貴重な意見を頂戴した。厳しい意見、温かい意見。いずれにしろ、しっかりやらなくてはいけないということは、今日出席した議員が全て承知、理解した。議員として、それぞれ意見を聞くなり、市民の意向を聞く中で、最終的な議案として提案されたならば、それに臨む態度を決めていく。</p> <p>(副議長) 閉会。</p>
その他特記事項	